

東日本大震災とわたし

作成者 T.E

1. 地震当日 2011.3.11 の私の体験

地震当日 2011.3.11。中学校の卒業式前日。離散会の最中だった。少しの揺れに気づくと次第に揺れは強くなっていき、みんなパニック状態になった。すぐ先生の指示がでて揺れがおさまるまで机にもぐった。その後、全校で外に避難したあと、体育館で揺れがおさまるまで待機した。その後も何度も揺れは続き、家に帰ることになった。

家に帰ると、電気と水道が止まっていた。夜はろうそくとランプを使い、夕飯はガスコンロを使い、夜はストーブが使えないので湯たんぽを使った。どれも私にとって初めての体験だった。夜も眠れず、これからどうになってしまうのか・・・不安でいっぱいだった。

翌朝、学校に行ってみると先生たちが集まっていた。そこで卒業式は延期になったことを伝えられ、家に帰った。家に帰ってから何もできず、ラジオで地震の情報を聴き、電気と水道が復興するのを待っていた。しかし、その日も復興せず眠りにつこうとしていた・・・そのとき、電気がついた。家族みんなの顔が明るくなったようだった。その日、わたしは不安が少しとけ眠りについた。

2. 地震後3ヶ月間の私の動き

地震後、地震に対する考えが変わり、地震はいつ起きてもおかしくないという考えをもつようになった。懐中電灯や非常食など準備し、いつ地震が起きてもいいようにした。また、被災地への募金もするようにしたり、節電も心がけたりするようになった。

3. 今私にできること

今私は何気ない生活を送っているが、被災地の人たちはまだ不安を抱えながら生活していると思う。職を失ったり、家を失ったり・・・。こうした不安を抱えた人たちが、少しでももとの生活ができるように募金を積極的にしたいと思う。また、これから暑くなり、節電をするのは難しいと思うが、できるだけ節電するように心がけたい。

1.

Large earthquakes occurred. I was surprised. It was my first

experience.

Earthquakes made me anxiety.

2.

My opinion was changed about earthquakes.

3.

People in affected areas are having anxiety.

I want to raise money for these people. Also I want to conserve energy.